

震災30年 未来につなぐ防災教育「ともしびプロジェクト」

本市では、教員や保護者・地域の方が実際に震災から学んだ教訓を子供たちに伝えてきました。震災から30年が経ち、防災教育を受けた世代が大人になり、「伝える立場」となっています。防災教育を通じて積み重ね続けてきた思いを「ともしび」に例え、次の世代へつないでいく活動「ともしびプロジェクト」に取り組んでいます。

BE KOBE
震災30年を
未来につなぐ

●子供たちへ伝えたい「防災メッセージ」

全市学校園の保護者の皆さまを対象に、「防災メッセージ」の募集を行い、200通を超える思いのこもったメッセージが寄せられました。いただいたメッセージの一部を紹介します。



防災メッセージ
はこちら

生きていれば、何とかなる。
防災を学んで、必ず生きよう。

神戸の復興の力、人が前向きに
生きる力を未来に伝えてください。

とにかく生きて。
生きてたらまた会えるから。

当たり前の日常が一瞬にして
変わることがあります。当たり前に感謝し、
今を大切に生きてほしいです。

震災は過去の話ではありません。
これからの未来のために
今できることを尽くしましょう。

人と人のつながりこそが防災に対する
一番の対策だと思います。

●各学校での取組

子供たちが防災・減災を自分事としてとらえ、主体的に学び、考え、伝える機会を作ることで、震災の教訓を次の世代へつないでいきます。今回は、各学校園の取組のうち2校の取組を紹介します。



各学校園での
取組紹介は
こちら

●太田中学校（須磨区）「ダンス DE 防災」

プロの振付師や演出家と協働し、「防災×歌×ダンス」をテーマにしたオリジナルのダンスを制作しました。子供からお年寄りまで楽しみながら防災・減災を学べるダンスムービーに仕上がりました。ダンスムービーは、右上の二次元コードからご覧いただけます。



●科学技術高校「環境防災」

都市工学科3年生が専門技術や知識を活用して河川やダムモデルを製作しました。「水害から神戸を守る仕組み」を防災イベントでわかりやすく解説するなど、山と海が近い神戸ならではの取組となっています。



コミュニティ・スクールの推進に向けて

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校運営にあたって保護者や地域等と連携し、子供たちの学びや成長を支える重要な仕組みです。本市では、各学校でコミュニティ・スクールの取組を進めています。今回は、灘区の上野中学校の取組をご紹介します。

うえのエキスパート ～地域でキャリア教育を～

●取組内容

上野中学校では、2009年に学校・保護者・地域が協力し、地域ぐるみで子供たちを支える「うえのプロジェクト」を立ち上げました。うえのプロジェクトのメンバーが学校運営協議会に参画し、学校の教育ビジョンを共有しながら、学習サポートやあいさつ運動など、多様な活動を実施しています。

その活動のひとつである「うえのエキスパート」では、地域の方などが講師になり、ワークショップ形式でキャリア教育を行っています。様々な職種、技能、資格にふれることで、職業や文化への理解を深めています。

●2024年度 開講講座(22講座)

分類	講座名
フード	寿司、和菓子、コーヒー
伝承	礼法と作法、袴着付け、和楽器演奏
匠	革製品
達人	フラワーコーディネート、イラストレーター
創造	現代アート、鍼灸・トレーナー、国際理解・多文化共生
資格等	建築士、看護師、保育士、心理療法、眼鏡店、地域包括支援センター、農業、発電とそれをとりまく産業界、社会保険労務士 知っておきたい「働くときの基礎知識」、キャリアコンサルタント「自己理解を深めるワーク」



▲フラワーコーディネート



▲和菓子



▲礼法と作法(着付け)

世界の国や文化に触れよう!「One World プログラム」

今年度より、全小学校の1・2年生を対象に「One World プログラム」を開始しました。外国にルーツのある地域の方やALT(外国語指導助手)から海外の暮らしや文化を学びます。世界には様々な国や文化があることに気づき、興味を持つ機会となっています。授業は1・2年生にも理解しやすいよう、日本語で行われます。

●本庄小学校(東灘区)での実施の様子



▲授業の様子

11月に、イギリスにルーツのある内田ジェニファーさんが2年生に向けて授業を行いました。身近な話題やアクティビティを通して、イギリスについて楽しく学習しました。

〈プログラム〉

- イギリスの有名な曲に手拍子・足拍子をつけてみんなで楽しもう
- 小学校の制服や給食、勉強等について、日本とイギリスの似ているところや違うところを発見しよう
- イギリスで人気のスポーツやイギリス発祥のキャラクターが登場するイギリスビンゴゲームをしよう

部活動から「KOBE◆KATSU」へ ～コベカツクラブを募集しています～

本市では、2026年8月末に中学校部活動を終了し、地域の方々とともに活動する「KOBE ◆ KATSU (コベカツ)」の開始に向けて取り組んでいます。

●「コベカツ」とは

中学生が放課後や休日に校区を越えて、様々なスポーツ・文化芸術活動に参加できる新しい仕組みです。趣味や交流を楽しむレクリエーションクラブから、大会やコンクール出場を目指すクラブまで、子供たちが主体的に多様な活動に参加できる機会の確保を目指しています。



▲「コベカツ」キービジュアル

●専用ホームページ開設！

「コベカツ」の最新情報を確認できるホームページを開設しました。

生徒・保護者の皆さんや活動団体、サポートしたい企業向けの情報を掲載しています。

昨年11月から12月に実施したコベカツ体験会のレポートも掲載していますので、ぜひご覧ください。



「コベカツ」ホームページ



▲体験会のレポートを掲載

●「コベカツクラブ」募集中！（第1次募集期間：～2025年2月16日(日)）

子供たちに活動の場を提供する団体「コベカツクラブ」を募集しています(審査があります)。応募条件などの詳細は、右の二次元コードから募集要領をご確認ください。

登録した「コベカツクラブ」は、3月下旬に「コベカツ」ホームページで公表する予定です。



「コベカツクラブ」への登録・申請

Q 保護者のグループも「コベカツクラブ」に応募できますか。

A 3名以上の団体で応募することができます。詳しくは募集要領をご確認ください。

第一学校給食センターの給食提供を開始しました

1月から、新たに整備した神戸市第一学校給食センターの給食提供が始まり、須磨区・垂水区の中学校19校で全員給食がスタートしました。新しい給食センターは、煮炊き調理室の見学や調理の疑似体験もできる施設となっており、子供たちが食べることの大切さを学ぶことができます。今後も徹底した衛生管理のもと、安全安心な給食を提供していきます。

中学校全員給食 今後の予定

2025年4月	長田区6校・西区13校
2026年1月	東灘区7校・灘区5校 兵庫区5校・北区16校



▲神戸市第一学校給食センター(外観)



▲煮炊き調理室が見える見学通路

神戸いじめ防止フォーラムを開催しました

12月25日に、いじめ防止への関心を高める機会として「神戸いじめ防止フォーラム」を開催しました。児童生徒の自主的な取組を紹介し、フォーラムの最後には長坂小学校の代表児童がいじめ撲滅に向けて力強く宣言しました。各学校でのよい取組などを共有し、今後もいじめの未然防止に取り組んでいきます。

●いじめ防止啓発作品の表彰・作品紹介

●いじめ防止の取組表彰・発表

ポスター部門	最優秀賞	小学校低学年の部 石橋奈菜 (高津橋小学校)
		小学校高学年の部 仲宗根昌吾 (浜山小学校)
		中学校の部 若山由里香 (港島学園【後期】)

動画部門	最優秀賞	湊翔楠中学校
	優秀賞	太山寺中学校

学校賞	●長坂小学校 ●中央小学校 ●なぎさ小学校
	●湊翔楠中学校 ●太山寺中学校

今年度は特によい取組を行った学校に学校賞を授与しました。受賞校を代表して、2校の代表児童生徒が発表しました。

長坂小学校	湊翔楠中学校
--------------	---------------

高学年がいじめをなくし、よりよい学校にするための標語を考えるとともに、いじめについて考えたことを全校生に紹介しました。

「いじめの4層構造」に着目し、いじめに関わるそれぞれの立場の心理状態を検討し、いじめ防止のメッセージや合言葉を作成しました。



◀湊翔楠中学校の発表の様子

●いじめ防止メッセージ動画紹介

パリ2024パラリンピック車いすラグビー日本代表の倉橋香衣選手から、「自分らしく生きること」「仲間を大切にして学校生活を送ること」など、子供たちへ熱いメッセージをいただきました。

●いじめ防止に向けた講演

タレントの山崎静代さん(南海キャンディーズ しずちゃん)とグッピーこずえさんに、「チャレンジを続けること」、「自分らしく生きるためのヒント」について、ご講演いただきました。

学校生活に関する相談窓口

教育委員会では、学校生活に関する相談窓口を設置しています。学校生活の中での悩みごとがあれば、どんな小さいことでも抱え込まずに早めにご相談ください。以下の窓口のほか、学校に相談しにくいこと、その他教育全般の意見や要望、どこに相談すればいいかわからないことは、「お困りごとポスト」へご相談ください。



相談内容	相談窓口	相談方法
学校・教育についてのお困りごと (いじめ・不適切指導・性被害・学校生活全般)	教育相談室	電話相談 0120-790-783 (フリーダイヤル) 078-360-3152 (直通) 月曜～金曜 [9時～17時]
		面接相談 078-360-3150 [予約制] 火曜～金曜 [10時～12時、13時～17時]
特別支援教育	特別支援教育相談センター	電話相談 078-360-2160 月曜～金曜 [9時～17時]
不登校	不登校支援相談センター	電話相談 078-366-0123 月曜～金曜 [9時～17時]
子供向けの相談窓口	こうべっ子悩み相談	電話相談 0120-155-783 (フリーダイヤル) [24時間受付]
	ひょうごっ子SNS悩み相談	学校で配られるチラシやカードをご確認ください。

～保護者・地域団体の皆様へのお願い～

教員の長時間勤務の解消に向けた取組に日々ご協力いただきありがとうございます。引き続き、「17時以降の学校電話機の音声アナウンス対応への切り替え」、「学校外での生活に起因する問題は内容に応じて警察や医療機関などの関係機関にご相談いただくこと」などにご理解・ご協力をお願いします。

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」
またはTEL：984-0608 FAX：984-0617でご連絡ください。

お困りごとポスト

